

2017年版CSRレポート分析からみる

2018年のCSRコミュニケーションの**傾向**

トッパンアイデアセンター
コーポレートコミュニケーション企画チーム

☑ GRIスタンダード対応

➢ 国内の対応事例はまだ少数。中核準拠に向けた課題の洗い出しを進める企業も

☑ マテリアリティ

➢ グローバルを視野に入れ、GRIやSDGsを取り入れた特定や見直しが増加

☑ SDGsへの言及

➢ 事業への組み込みや、責任者によるコミットメント。世界の共通言語として活用が拡大

☑ ESGトレンドテーマ

➢ 経営戦略や事業活動に基づくリスクと機会の両面から、具体例やデータを開示

☑ ツールの多様化

➢ 小冊子、動画、SNSなど多様なメディアで展開。ブランディングの側面も

☑統合報告とサステナビリティの関係性は、ESG・マテリアリティ・SDGsを軸に融合が加速

